

サーバーの MIFES をクライアントから使用する方法について

「MIFES 11 Enterprise ライセンス」および「MIFES 11 Educational ライセンス」では、共有できるコンピューター（以下「サーバー」）の MIFES を、ネットワークを利用して複数のコンピューター（以下「クライアント」）から使用することができます。

以下の2つのタイプの方法がありますので、どちらかの方法をご利用ください。

なお、MIFES を各コンピューターにインストールして使用する場合は、この紙面の情報は関係ありません。

【タイプ1】 ターミナルサービスを利用して MIFES を使用する方法

リモートデスクトップや RemoteApp などのターミナルサービス機能があるサーバーに MIFES をインストールして、クライアントからサーバーにログインしたユーザーが MIFES を使用する一般的な方法です。

MIFES 関連のファイルはすべてサーバーにありますので、クライアント PC を特定しません。また、ログインユーザーごとにカスタマイズ情報を別にすることも可能です。

MIFES を通常のコンピューターと同じようにサーバーにインストールしてご利用ください。

サーバー側の設定や RemoteApp でのクライアントへの提供方法などは、ターミナルサービスのヘルプなどをご確認の上、ご利用ください。

※ ログインユーザーの権限によっては、「設定ウィザード」のシステムに設定する機能（拡張子の関連付け、常駐設定など）を利用できない場合があります。

<カスタマイズ情報をログインユーザーで別にする方法>

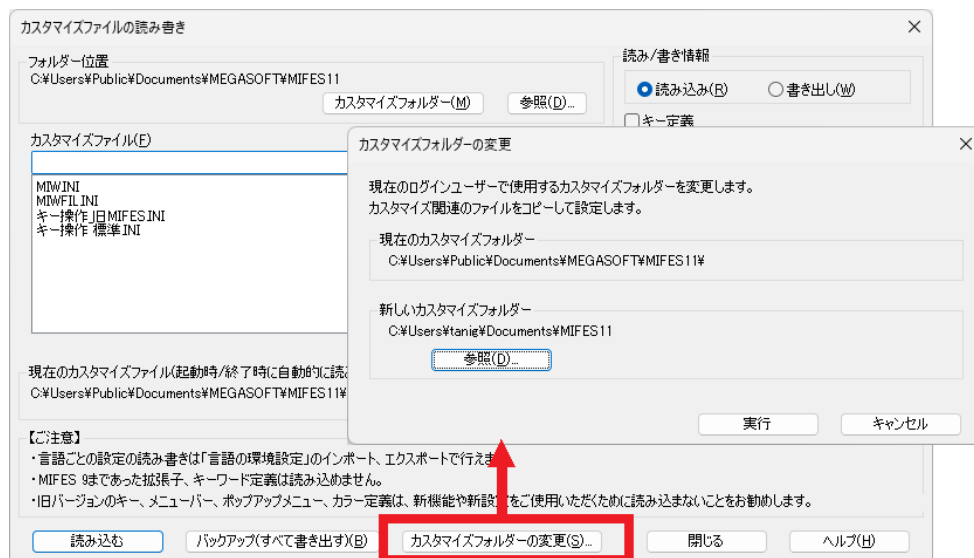
MIFES の「カスタマイズフォルダー」（カスタマイズ関連のファイルがあるフォルダー）は、インストール時に「共有ドキュメント」に作成され、ログインユーザーで共通になります。

このカスタマイズフォルダーをログインユーザーで別にすることができます。

ログインユーザーごとに、以下の手順で設定してください。

- 1) クライアントからサーバーにログインして、MIFES を起動し、【設定】-【カスタマイズファイルの読み書き】を実行します。
- 2) 「カスタマイズファイルの読み書き」ダイアログボックスの下段にある「カスタマイズフォルダーの変更」を実行します。
- 3) 「カスタマイズフォルダーの変更」（以下の画面）が起動しますので、新しいカスタマイズフォルダーを指定して実行します。
- 4) カスタマイズ関連のファイルがコピーされ、そのフォルダー位置の情報がサーバー側のカレントユーザーのレジストリに設定されます。

以降、このログインユーザーが MIFES を起動すると、指定したカスタマイズフォルダーが使用されます。



【タイプ 2】サーバーの共有できるフォルダーにある MIFES を直接実行する方法

ターミナルサービス機能を利用せずに、サーバーにある MIFES のプログラムを直接クライアント PC から実行する方法です。「MIFES クライアント設定」機能で、クライアント側にカスタマイズフォルダーを作成し、クライアントごとにカスタマイズ情報が別になります。

なお、MIFES のプログラムで同時起動数を確認、制限する仕組みは特にありません。

<サーバー側の準備>

以下の手順で、サーバーの共有できるフォルダーに MIFES のすべてのファイルをまとめます。

- 1) MIFES を任意のコンピューター (MIFES を共有で利用するサーバー以外) にインストールします。「プログラムフォルダー」と「カスタマイズフォルダー」(デフォルトの位置は下記) が作成されます。
- 2) サーバーに共有できるフォルダーを 1 つ作成します。フォルダーの位置、名前に特に決まりはありません。
- 3) 手順 1) のコンピューターの「プログラムフォルダー」と「カスタマイズフォルダー」のすべてのファイルを、手順 2) で作成したフォルダーにコピーします。

以上です。なお、インストールしたコンピューターで MIFES を使用しない場合は、サーバー側の準備が終了後アンインストールしてください。

「プログラムフォルダー」 MIFES のプログラム関連のファイルがあるフォルダー。デフォルトは以下です。

C:\Program Files\MIFES11

「カスタマイズフォルダー」 MIFES のカスタマイズ関連のファイルがあるフォルダー。デフォルトは以下です。

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\MIFES11

<クライアント側の設定方法>

初回起動時に 1 度だけ、以下の手順で設定をしてください。

- 1) クライアントからサーバーにある MIFES のプログラム (「MIW.EXE」) を実行し、MIFES を起動します。
最初の起動時のみ「MIFES クライアント設定」(下の画面) が表示されます。
カスタマイズ関連のファイルを保存する「クライアントのカスタマイズフォルダー」を指定して [実行] をクリックします。
- 2) <サーバー側の準備> で用意したフォルダーの中のカスタマイズ関連のファイルだけが、「クライアントのカスタマイズフォルダー」にコピーされ、そのフォルダー位置の情報がクライアント側のレジストリ (ログインユーザーのレジストリ) に設定されます。

以降、このクライアントから MIFES を起動すると、指定したカスタマイズフォルダーが使用されます。

※クライアントからサーバーにある MIFES の「設定ウィザード」(「OPTWIZ.exe」) を実行して、拡張子の関連付け、エクスプローラの右クリックメニューへの追加、タスクトレイへの常駐などの設定も可能です。

